

令和5年度 つくし(0歳児)組 防災訓練計画表

月	想定	ねらい	訓練内容・環境構成
4	火災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災組織の構築 ・ 防災時の行動確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難経路には常に物を置かぬよう心掛け、経路を遮ることがないようにする。 ・ 避難経路や手順を確認する。経路は複数用意しておく。 ・ おぶい紐を(本)用意する。 ・ 役割分担や行動をまとめたリストを作成し、各々の動きを把握する。 ・ 子どもが出したおもちゃは常に棚に戻すことを習慣にすることで、日常的に足元の安全確保をする。
	図上訓練		
5	地震	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難経路や自分の役割を把握し、安全に避難場所へと移動する。 ・ 安心できる保育士と、災害時の行動を経験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員同士声を掛け合って落ち着いた行動をし、速やかに第一避難場所へ避難する。 ・ 自分の役割を把握し、実行する。 ・ 子どもを保育士の近くに呼ぶか連れに行き、体や布団等で覆うように守る。(地震時) ・ 非常ベルや放送に対し、不安な気持ちを増長しないよう穏やかな声や表情で対応する。
6	火災		
7	地震		
8	火災		
9	地震	警戒宣言に基づく	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合防災訓練に参加し、日常通りにならない生活を経験する。 ・ 避難車の点検をする。(乗せる人数や重さ是对応範囲内か/タイヤや車体は破損していないか/ブレーキは効くか)必要に応じて業者に点検を依頼する。 ・ 簡易哺乳の方法を知る。 ・ 使い捨て食器を使用し、食事を提供する。
10	火災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信頼できる保育士と一緒に身を守り、行動に協力しようとする。 ・ 放送に慣れ、保育士の傍で安心して過ごす。 ・ 状況を判断し、とるべき行動を瞬時に判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さらしを使ったおぶい方を経験する。 ・ 避難生活に必要なとなり得る物・場所について話し合う。 ・ 避難所での乳児スペースについての環境を考える。 ・ 防災組織の評価 ・ 自園の立地条件から推測される災害の影響について話し合い、策を講じる。
11	地震		
12	火災		
1	地震	午睡以後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難経路をすぐに確保する為、速やかに扉を開ける。 ・ 窓や扉付近はガラスが割れ散らばる恐れがあるので、布団やマットを広げ、足元の安全を確保する。 ・ 日々の信頼関係・愛着関係を丁寧に形成することで、災害時の安心に繋がるよう努める。 ・ 火の気から遠い経路を選択して避難する。 ・ 午睡から完全に覚醒していないことがある事を想定し、転倒しないよう車の中に毛布を用意しておく。
2	火災	夕方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 降園が始まっている時間帯であり、人数を把握する難しさを承知して随時人数確認を行う。 ・ 訓練時に保護者が迎えに来た場合は、手から手へ引き渡し安全を確認し合う。
3	地震		